

2023年5月12日

スチュワードシップ活動の状況についてのご報告
[2022年4月1日～2023年3月31日]

セゾン共創日本ファンド

2014年8月に受け入れを表明し、2020年4月に再改訂版の受け入れを表明した「日本版スチュワードシップ・コード」に基づき、スチュワードシップ責任を遂行するため、下記の活動を行いましたのでご報告いたします。

活動内容：

- ・議決権行使をし、以下3社の議案については反対。それ以外の議案については賛成をしております。棄権をした議案はありません

企業名	議案内容	判定	判定理由
ヤクルト	取締役15名選任	反対	取締役の数が15名と比較的多いことに加え、スキル・マトリックスに記載されている役割が完全に重複する取締役が複数人いる、また利益相反の可能性がある役員がいるため、適切でないと判断
花王	取締役10名選任	反対	3期連続業績未達の為、4期目以上の役員については継続就任が適切ではないと判断
日東電工	取締役10名選任	反対	経歴とスキルマトリックスで開示されている能力とに差異がありすぎるため、同社の企業価値向上に貢献できるのかが不明であるため、適切ではないと判断

- ・投資先企業関係各部署と四半期ごとに対面・webにて、対話を実施。エンゲージメントを行うことで、提案内容が決算説明資料に反映される等の成果有

上記活動は現在も継続して行っており、スチュワードシップ・コードに則した投資行動を行っているものと認識しています。

以上

「普通」が続く。それが、豊かさ。